

特43-688

特43



1200800199650

688

官許

民

みん

間

かん

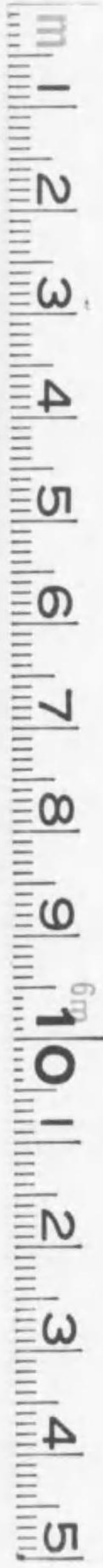
誌

諭

さし

毎月二号宛刊行

同盟舎發光



始



緒言

田翁ノ言ニ、近年ハ学者達ガ、ヤレ民権ヲ張レノ、自由ヲ廣
 ゲロノ、民會ヲ開ケノ、卑屈根情ダノト申サレマスガ、張ル
 者カ、廣ゲル物カ、ソシテ名ノ物ハ、唐物屋ヲ尋テモ、マダ田
 舎ヘハ参リマセン、ソシテ舶来物ドコロカ、我ガ貢ク租税
 スラ、何シノ訳ダカ其理ヲ知ラズ、甚レキニ至テハ、徵兵ト懲
 役トハ、何レノ罪ガ重カト問フ者アリト、是田舎ハ扱置キ、
 都下ニテモマダ、十ニ七八ハ其仲間ニテ、余モ亦其仲間ノ
 一人ナリ、然レモ、一生此仲間ニ終ランコトヲ患ヒ、愚ハ愚ヲ
 喻スノ一書ヲ編シ、既ニ出版セシガ、他事アツテ發賣セザ
 リキ、今ヨリ後チ絶エズ續出シテ、余ト同レキ愚人ニ示シ、
 俱ニ勉勵シテ、早ク民権ノ何物タルヲ知り、人民ノ義務ヲ
 悟リ、自由ヲ談ルノ域ニ到ラントス、智者若シ愚ヲ笑フノ
 暇アラバ、乞フ其職ヲ尽セ

民間ノ喩第一号

發端

是マデハ、學問モアマリ隆興イタサズホマノ
 者マデ學術ノセワモ行届カザリシユエ、人ノ智
 識モ開ケズ、下々愚昧ノ者ノ中ニハ、往昔ヨリ、年
 貢ハ何故ニ納ムルカ、運上ハ何ノ為ニ出スカ、武
 役ハ何ノ為ニ勤ルカ、人理合モシラズ、平貢運上
 ハ、唯政府ヘ取上ラル、モノ、様ニ思ヒ、一口ニ
 政府ヲ惡クイフモノモ、折々ハアルヤウス又御

民間ノ喩

一新以来ハ。何物ニテモ運上ヲ取ラレ。其上裸躰
ハナラヌノ。路傍ノ小便ハワルイノト。種々ノ御
觸バカリ嚴シクテ。諸色ハ、漸々アガリ。下々ノ難
澁ハ、漸次ニ増ス。ドウゾ今一度往昔ノ世ニシタ
イナドト。口カラ出放題ニ、雜言イフヲ聞クト、又
コレヲ眞實ニオモフ、ベラボウモアリテ。遂ニハ
騷動ヲ始ムルヤウニナルトモアルト申スカ。實
ニ勿躰至極モナイトゴザル。往昔ニ比較レバ。
御一新以来ノ御仁政ナル。下々ノ身ニトリテア

リガタキ一ハ。筆ニモ紙ニモ、盡サレマセヌ。マツ
今ノ百姓町人ハ。昔ノ大名旗下モ同様ノ御取扱
ヒニテ、皆夫々ノ家業ヲ精出シ。人間ノ道サヘ、守
テ并レバ。誰一人彼是イフ者モナク。真ニ自由安
樂ノ御代デハゴザラヌカ。一寸手迄ク申セバ。往
昔ハ、百姓ニ羽織ハナラヌノ。町人ニ、苗字乗馬ハ
御法度ダノ。少シノ無禮ガアレバ、手討ニスルノ。
又通行ノ節ハ。下ニ居レ、下ニ居レ、頭巾ヲ取レノ。
御用人足御用宿。賃錢半拂ニテ、傲然ト食タフシ

○ 儲年貢運上ノ人々ヨリ出ス法ハ。日本ノミナ
ラズ。世界萬國トモニ。往古ヨリアルテゴザル。
然ルモ道理ニ暗キ愚民ヲハ。年貢運上ハ。只御上
ハ取アゲラル。物人様ニ思ヒ。大ヒナル。心得違
ヲシテ居ル人モアランカト存ジ。マツ年貢運上
ハ。必ス出スベキ道理ヲオ断シ申シマス。○ 儲年
貢運上ハ。決シテ御上ノ為ニ。納ムルニモアラス。
又役人ノ為ニ。出スニモアラス。皆國ノ為也。國ノ
為トハ。即チ我身ノ為ナリ。其記ハ。大古人民創テ

播布シ時分ノ一ヲ推考フルニ。其頃ハイマダ政
府ノ設モナク。皆々互ニ人ヲ殺シテハ。其財ヲ掠
メ取ル。強イ者勝ナル。風習ニテ。盜賊ハ。白昼ニ横
行致シ。我が家財ヲ奪ヒ去ル様ノ一モ。度々ゴザ
レド。弱キ者ハ。自カラ之ヲ防グ一モ出来ズ。又外
國他郷ヨリ。攻来ル一アリトモ。五人ヤ三人ニテ
ハ。自カラ之ヲ豫備防禦スル一ダニ能ハズ。又争
論ノ起ル一ナドアリテモ。誰モ其訟獄ヲ断キ。刑
罰ヲ定ムル者ナク。コレヲ一一口ニイヘバ。皆自ラ

我身ヲ安全ニ保守ルノ出来ヌ人テ。昔唐人韓退之トイフ人ガ弱ク肉ハ強ク食ナリト云ハレタルモ、此トデズカハル。若シ又自分ニテ此等ノ事務ヲ致サントスレバ。今日ハ、爭論ナリ。明日ハ、公事ナリ。明後日ハ、戦争ナリト毎日、其事ニノミカ、リテ居テハ。一日モ、吾家業ヲ営ム閑暇ガゴザラヌ。吾家業ヲナサヌトキハ、何程智者デモ。何程勇者デモ。忽チ飢饉ニ迫ルハ、必定デゴザル。茲ニオイテ、扱ナク。劔鎗ナドヲ提タル番人ヲ

雇ヒ。米ノ出来ル時分ニハ、田ヲ守ラセ。麥ノ出来ル時分ニハ、畑ヲ防ガセ。外ニ出ルトキハ、家内ヲ護ラセ。商内ヲスルニハ、見世ニ防人ヲ置キ。而シテ、吾稼ギタル利潤ヲ、其番人ト、俱ク配分マシタガ。一人デ稼ギタルモ、フケテ、五人六人ニテ配分マスエエ。中々、喰ニモ足ラズ去レドモ、番人ヲ置カザレバ。外ニ出レバ、家内ノ物ヲ奪ハレ。家内ニアレバ、田畑ノ物ヲ掠メラレ。如何トモ致方ナク。夜令又番人ヲ置キタリトテ。多勢ノ賊徒ガ群集

民月分
五

シテ番人ヲ踏倒シ其品物ヲ奪去ルナドモア
リテ實ニ憫然至極ナル形勢デゴザツタヨツテ
此難義ヲ逃レシトテ谷々色々工夫シソレク職
分ヲ手分シカ強ク利口ナル者又頭取ト頼三其
頭取ノ指揮ニ服從シ我身ノ保護ヲ頼三其代リ
ニ頭取方ノ諸入用ヲ貢テ始メテ安堵シテ我家
業ヲ営ム様ニナリマシタ○頭取ノ方ニテハ其
下マヨリ納タル貢物ヲ以テ人数ヲ抱へ武器ヲ
買ヒナドシテ人々ニ役ヲ分ケ智恵アル者ハ訴

訟ヲ斷定シ威カアル者ハ悪党盜賊ヲ制シ萬民
ヲ取締シ諸省府縣ニ至ルマテ官員ハ皆萬民ニ
代テ骨ヲ折リ力ヲ尽シテ諸事ヲ取扱フユ正ニ
萬民ハ安堵シテ皆夫々我家業ノミヲ勉メ誰一
人コレヲ妨ゲル者モナキ様ニナリマシタ是全
ク今イフ頭取ヲ立テ依頼セシユエテゴザル此
頭取モ漸ク工夫シテ今ノ政府トナツタノデゴ
ザル右ノ如キ次第ユエ政府ノ諸入費ハ皆國民
ヨリ償フベキハ相當ノ道理デハゴザラヌカ因

テ今年貢運上ヲ出スヲ手近申セバ御上ヨリ下
 マヲ支配シ損害ヲ受ケス様ニ保護下サルニ報
 ユル恩賞ナリ是ハ大古耕作ニ出ル時劔鎗ヲ提
 タル番人ヲ雇ヒシ給金ト同ゴトナリ○斯ク政
 府ノ設ナキ時ハ今前ニイフ次第ユエ夜モ眠ラ
 レズ其上六百文稼ギタルモ之ヲ番人ト六人ニ
 配分スレバ我手ニ取ルハ只百文ナリ然ルヲ政
 府ノ設ケアリテヨリハ六百文稼ギタルモ僅ニ
 ニ文カ三文運上ヲ納ムルノ三ユエニ甚ダ便利

ニシテ安樂ニ世ヲ渡リ枕ヲ高クシテ眠ル様ニ
 ナリマシタモ昔ヨリ外國ニハ暴虐無道ノ人君
 モアリテ勝手ニ國民ノ財宝ヲ奪ヒ庶ヲ殺戮
 セシトモアリマシタガ夫デモ政府ナキ國ニ比
 プレバ余程便利デアツタト申ス一デアリマス
 ○年貢運上ハ今イフ如ク我入用ノ品物ヲ買フ
 テ其代料ヲ拂フニ等シク我保護ヲ受ケタル報
 ニ拂ス給金ナリトシルベシ○凡ソ世ノ中ニ物ヲ
 買ヒ人ヲ雇ヒナドスル代金ノ内ニテ政府ノ保

護ヲ蒙リ其報ニ出ス税ヨリ安直モノハコザル
マイ物ノ道理ニ暗キモノハ他ノ政府ナキ國々
ニ棲止ル人々憫レムベキ情態ヲシラズ却テ動
モスレバ政府ノ保護ヲ蒙リシ利益アルヲ忘レ
テ年貢運上ノ多少ヲ論ジ不平ノ沙汰スルハ實
ニ勿躰ナキ一デハゴザラスカノ今申ス如ク御
上デ夜昼トナク骨ヲ折テ保護シ給ハルハ萬民
皆同一ナレバ百姓バカリ税ヲ出スベキニアラ
ズ何事ニテモ政府ノ保護ヲ受ル処ノモノハ皆

夫々ノ税ヲ出スベキ道理ナリ譬ヒバ官貢ノ月
給ヲ取テ活計トスルモ百姓ノ田畑ヲ耕シテ活
計ヲ立ルモ金貸ノ利息ヲ取ツテ活計トスルモ
職人ノ手間ヲ取テ口ヲ糊スモ商人ノ物品ヲ賣
買シテ糊口トスルモ皆同一ニテ聊ノ事タリ凡
政府ノ保護ヲ得ザルモノハナキ苦ナリ左ス
バマタ聊ノ事タリトモ運上ヲ出サバル道理ノ
アルベキヤ依テ夫々運上ノ法ヲ御取設ニ相成
リ何物ニテモ運上ヲ出スコトニナリタリトテ

民間 卷之二 八 同屋上

物ヲ買フテ其代料ヲ拂フモ同理ナレバ彼是イ
フベキ道理ハ毛頭モナキ苦テハコザラヌカ又
運上ヲ出シテ事ヲスルニ他人ノ害ニナラヌコ
トナラバ何事ニテモ彼是妨グイフベキ道理ハ
ナキ苦テゴザル

○世界萬國トモ年貢運上ヲ納ムル訣ハ今前ニ
連タル通テゴザル然ルニ是マデ我日本ハ農ヲ
以テ國ヲ立ル風儀ユエ百姓ノミ稅重ク通例四
公六民トイフテ拾俵トリアゲタ米モ四俵ハ年

貢トナリ其上御傳馬ダノ武役ダノ助郷ダノト
入費骨折モ多シ商人ハ之ニ反シテ拾圓取揚タ
金トテ四圓政府へ納ムルテモ十ク又田畑モナ
キユ工高割ノ入用モ少シコレ民ニ勞ト逸トノ
偏アルトコロデゴザル辱ナクモ

天子様此偏ヲ御改正アソバサレント乃千百官
諸有司ノ群議ヲ折中セラレ地方官ノ衆論ヲ尽
サセラレ種々御弁論ノ上程ヨク公平畫一二御
改正ニ相成リ賦稅ニ厚薄ノ弊ナク民ニ勞逸ノ

偏ナカラントノ厚キ
御叔慮ナレバ。皆々難有ク、カシコマリ奉ルベキ
事ナリ

○借令般地租御改正ニ付テハ。コレマデ田畑ノ
貢納ハ、皆御廢止ニ相成リ。更ニ地券トテ。此地ハ
何町何間アリテ。賣買ニスレバ、何程ノ價ナリト
云フ。御調査アリテノ上、其御朱印狀ヲクダ
サレ。其土地ヲ賣買スル、百分ノ三即チ百圓ニテ
賣買スル土地ナレバ、三圓ヲ地租ト御定ニナリ

タリ。譬へバ田舎ニテ一町ノ土地ヲ賣買シテ百
圓トナリ。都下ニテハ、僅拾間ノ地ヲ賣買シテモ、
百圓トナル地券ナレバ、一町ノ地モ拾間ノ地モ、
同地租ヲ納ムルノデゴザル。コレハ田舎ノ一町
ノ地ト都下ノ拾間ノ地ト買求ムル價モ、年々ノ
利益モ、同ジコトユエ、其地租モ、同様ニ出スベキ
道理デゴザル。然ルヲ土地ノ廣狹、石高等ニテ年
貢ヲ納ムル時ハ、田舎ハ地面廣キユエ、利益少ク
トモ租多ク。都下ハ地面狭キユエ、利潤多クトモ

税少ナシ。コレ税ニ輕重アル所以ナリ。依テ今般
コレヲ御改正ニナリ。都下モ、田舎モ、皆同様ノ租
税ヲ納ムルコトナレバ、皆俱々ニ難有クヨロコ
グベキ一デゴガル。又地租モ、追々ハ百分一マデ
ニ御減少ニ相成リ。其他是マデハ、官廳街村入費
モ、皆地所石高ニ賦課ケ、取立タレドモ、以後ハス
ベテ地價ニ賦課ケ。其金高ハ、必ず水税金ノ三ガ
一ヨリ超過ベカラズト云云。實ニ難有公平ノ御
処置デハゴザラヌカ

徴兵ノ事

前ニモ申シタル如ク、極大古人民ノ智識ノ開ケ
又時代ニ、彼ノ國ト戦ヲイタシ。他ノ村ト争論ナ
ドヲ、イタストキハ、人々弓竹槍ナドヲ携ヘテ、或
ハ闘ヒ、或ハ防ギナド、致シタモノナレドモ、ケ様
ニ皆々、毎日く喧嘩ヤ、戦バカリニ出掛テ、耕作
スル間暇ガナケレバ、食物ニ差支ヘルユエ、ソコ
テ色々工夫相談ノ上、喧嘩ヤ、戦バカリスル人ト
耕作商賣バカリスル人ト、其事務ヲ區別ケ、戦ガ

人ノ取締ハ出来又訊デゴザル一人ニテ二
 人ノ巡查ヲ雇ヒ二人ノ給金ヲ拂フトキハ前二
 申シタル通り三百文稼タルモ我が手ニ残ルハ
 只百文ノ三夫デハ互ヒニ活計ニナラヌ故ソユ
 デ巡查ニ權威ヲ與ヘ人々巡查ハコワキモノト
 思フユエ拾人ノ中へ一人飛越デモ皆々平伏シ
 テ恐入ルユエ一人シテ拾人ノ取締モ出来ル様
 ニナリ十人ニテ一人ダケノ給金ヲ出セバ事足
 ルユエ我が為ニハ大ニ利益デゴザル是マデ武

家ニ權威ノアルモ役人ノ威張モ其元ハコノ訊
 カル思ハレマス併此權威ガダンク增長シテ徳
 川殿下ノ時分ニハ何ノ利益モナク何ノ役ニモ
 立ス何ノ訊モシラス武士ガ只威張テ人民ノ害
 切スルハカリ人民ハ大金ヲ出シテ却テ厄凶者
 ヲ抱タカ姿ヲゴザツタ
 西洋諸國ニテモ百年前カリ前マテハ矢張右
 ハ次第ヲゴザツタカ武士ハ代々武士ト定メテ
 概外ト泰平無事ノ世ニ至レバ其戦人ニ抱ラレ

外ルコトヲ打意レテ。瀬急ニ流レ。尊大バカリヒ
ナリ。大金ヲ出シテ抱タル功能モナキク。五カ却
テ其金ヲ出シタル百姓商人ニ害ヲチク。江戸代
ガ武家ヲ廢メ。人民残ラズ。二十歳位ヨリ三十
歳余マテ。自ラ武役トナリ。共々ニ國家ヲ守護イ
タス。二十ナリマシタ。斯様ニイラスト。武士ハ皆
若キ人バカリユエ。勢ヒモ強ク。入用モ少ク。大ニ
便利テゴザル。日本ニテモ御一新マデハ。右ノ通ニハテ。武家ハ

代々武家百姓商人ハ。代々百姓商人ユエ。何ノ器
量モナキ武家が。權威バカリ増長シテ。遂ニ八百
姓商人ハ人間テナキモノ。様ニ思ヒ。無理非道
勝手次第ニ取扱ヒ。其推義ヲ受タルハ。皆人ノ知
ル通りテゴザル。夫故御一新ノ後。武家ハ皆御廢
止ニナサレ。武家ハ全クナキコトニナリマシタ。
就テハ。是マデ武家へ出シタル給金モ。是カラハ
出サズトモヨキコトニナリマシタ。然シ給金ヲ
出サストキハ。自分自カラ武役ヲ務ナケレバナ

ラスハ、當然ノ理合テゴザル
○ 仮令バ、給金ヲ出シテ下女ヲ抱エレバ、飯ヲ焚ク世話ハナケレドモ、下女ヲ置ザレバ給金ヲ出ス費ヘハナキ代リニ、自分飯ヲ炊子バナラヌハ當然ノ道理テゴザラウ。此理合エ、工貴賤ノ別ナク、若キ時ハ武役トナリ、國家ノタメニ力ヲ尽スハ當然ノ理ニテ、人間ノ務メト申スモノナリ。其代リ、我が武役ヲ退キタルノキハ、他人マタ代リテ國ヲ守リ、我が身ヲ守ツテ呉ルハ相互ノコト

テゴザル
○ 西洋ノ大學者ノ論ニモ、我が財貨ヤ、我が性命ハ我ニ属タルモノニアラズ、實ハ皆國ニ属タルモノナリトイヘリ、左スレバ國ノ為ニハ財貨ハ元ヨリ、我性命ヲモ擲キ、死ヲ怖レズ、之ヲ守護イタスハ、則チ人間ノ國ニ對シテ、行ハナケレバナラス、如ク、義務ト申スモノテゴザル。人々已レノ身代ヲ大事ニ思ハ、我が國ヲ大事ニシ、我が妻子ヲ可愛ト思ハ、我が國ヲ可愛ガルベシ、是則

民間
十五
同

千愛國ノ御旨意ヲ奉戴スル良民ナレバ其賞ヲ
得スト云ベケンヤ

同心協力ノ事

○儲又我が日本國ハ天朝ノ物ニモアラス又縣
廳ノ物ニモアラス天子様ヲ首トシテ日本ノ人
民九ソ三千五百萬人中相持ノモノナレバ相互
ニカヲ出シ合ヒ心ヲ合セ身命ヲ抛テ無難ニ持
コタヘ少シタリトモ他國ノ人ニ疵ヲツケラレ
又様大事ニ守ルハ是人民ノ國對シテ必ズセ十

ケレバナナラス義務ト申スモノテゴサル物ノ道
理ニ暗キ愚昧ノ者ハ只我が身代サヘ大事ニス
レハ國ハトウナツテモ我が身ニサハリハナイ
ト思フモノモアルベケレドモ是ハ大ナル心得
違ヒナリ英吉利人作レル經濟說畧ト云フ書ニ
是レヲ我身体ニ譬エタル嚙ガゴサル或ルトキ
手ヤ足ヤ肩ナドガ寄集テ相談スルヲ聞クニ御
同然ニ朝カラ晩マデ歩行タリ働ビタリ擔イダ
リ骨ヲ折テ稼イダル物モ皆臍ノ膈ノ為ニ喰レ

テシマヒ。コンナツマラスコトハナイトテ明日
カラ手ハ働クコトヲ止メ足ハ歩行ヲ止メ口
ハ喰フヲ止メマシタ。然ル処其半日ヤ一日ハ
大ニ樂ノ様デアツタガ。二日三日トナツテ、身体
ガ漸々疲レテマキルト。夫ニ續テ手モ足モ疲レ
テ最早動クヲモナラヌ様ニナリマシタソコデ
手ヤ足ハ初テ氣ガ付テ。是マテ稼ヒタノハ皆臍
ノ為ニ口ニ喰レテシマツタト思フタガ皆銘々
自分ノ為デアツタト申シマシタ。國モ矢張其通

リ、我身ハ如何程富貴ニナツタトテ緊要ノ土地
ナル此國ガ疲弊テクレバ、其上ニ生ヅタル我身
ノ枯ルハ當然ノ理デゴサラウ。因テ識者達ガ同
心協力ハ富國強兵ノ基礎ダト、ヤカマシク申サ
ル、ガ成ホドコレガ第一番ノ目的デゴザル。國
中ノ人民ガ心ヲ同ウシ、カヲ出シ合テ、御上ヲ助
ケ、國ヲ大事ニスレバ、自然ト國ガ富榮ヘ、國ガ富
榮ユレハ、自然ト勢ガ強ク盛ナリ。國ノ勢カ強ク
盛ナレバ、自然ト我身代ガ大夫ニナルハ。前ニ云

夫ニナルト、同心協力ナド、殊々シク申ト。何カ戦ノ時
ハ、鉄砲デモ擔テ、敵陣へ踏込ニ敵ノ首デモ斬テ
コナケレバナラズ。又泰平ノ片ハ、多分ノ金デモ
政府ヤ、学校へ差上ナケレバナラヌ。テ車挽
ヤ、推助ヤ、我々ニハトテモ出来ヌ。ノ様ニ思ハ
レルナレド、決シテ左様デハゴガラヌ。人々元ヨ
リ、大盡モアレバ、貧乏モアリ。老人モアレバ、子供

モアリ。而シテ戦ト云モノハ、中々握リ拳ヲ振廻
ス腕ノカ位テ勝レルモノデハナク。又富國トイ
ツテ、御上へ金ヲ差上タ位テ、國カ富ハモノデモ
ゴガラス。其同心協力人間ノ義務ト申ハ、何モ左
程六カシキ。テハゴガラヌ。唯國ヲ尊敬シ、少モ
法律ニ違背ズ。而シテ銘々ノ職分ヲ守リ、何デモ
兵隊ノ者ハ、一生懸命ニ戦ノ。ノヲ務メ、百姓ハ精
出シテ耕シ、職人ハ精出シテ働キ、商人ハ一心ニ
商賣シ、奉公人ハ主人ノ用ヲ大事ニ勤メ、御上ノ

民間
六

御趣意ニ背カズ。何デモ御上ノ厄ハ御苦勞ヲ掛
又様ニ心掛テ。全國安穩ニナレバ、御上ノ入費モ
少ナク。各々我家業ヲ怠ラザレバ、自然ト家モ富
饒ニナリ。上下富饒ニナレバ、則チ國ガ富ダノデ
ゴザル。國ガ富ダル上ハ、若シ戰ガ始マツタトテ。
差支ナク、軍用金ヲ出シテヤルエエ。出先ノ者モ
此地ニ心配ナク、十分ニ働スエ、十分ニ勝ハ、必定
デゴザル。其時其勝タ手柄ハ誰ノカゾヤ。則チ國
中ノ人ノ出合タカニテ。國中ノ人ノ同心戮力デ

ゴザラウ。此道理サヘ解ツタナラバ、仮令權助デ
モ、下女デモ、矢張國ヲ富シ、兵ヲ強クシ、國家ヲ安
全ニシタル、同心協力ノ仲間ニテ。人間ノ義務ヲ
盡スト申スモノデゴザル
二号ヨリハ辱モ 天子様ノ我々ヲ子ト思
食父母ノ赤子ヲ思フ如ク。我々ノ性命家財ヲ
大事ニ守護シクダサレ。賤シキ我々ノ事ニ付
テモ、宸襟ヲ惱サル、切ナル御仁恤ヨリ、臺灣
ノ征伐并ニ支那ヘ大使ヲ遣サレシ次第。又人

1986
21

40931

民ノ政府ニ對シ、國ニ對シ相互ニ對シ。必ズ務
 マキ人間ノ道理ヲ細ニ述ルデゴザラウ
 右一冊ハ明治六年ノ始ニ出版致シテ置シ
 故皆其時分ノ一ヲ申シタレド二号ヨリハ
 現今ノ入用ナル必ズ才為ニナル一ドヲ集
 メテ申シマスカラ怠ナク御覽ヲサレ人ノ
 人タル道理ヲ考ヒ義務ヲ尽シ早ク人民
 權利ヲ得ルノ域ニ到ラン一ヲ乞フ

明治九年十月

編者 再誌

議衆
 13.10.3
 圖書館

廣告

音畫 兩引 漢語字彙大全

半紙ハツ折形懷中本價五十錢
薄紙摺雁皮摺西洋綴御好ニ任ス

新撰 銅版 雅俗節用集

同形製本ノ式同上價六十錢
漢語雅言ヲ交ヒタル伊呂波引也

銅版 畫引 校刻小字典

同形製本ノ式同上價六十錢
以上三書合本西洋綴御好ニ任ス

增訂 再版 萬通字類大全

中本一冊價七十五錢
漢語熟語 姓氏地名入りノ畫字引也

日本外史國中畧字類

中本一冊價銀三十五匁
右二書ヲ 讀ニハ極便利ノ字引ナリ

二重 早引 通俗名乘字解

銅版小本價十六錢
名乘字書ニ 名乘花押印形等ノ付方ヲ俗解ス

右ノ外姓氏字引天文圖解等モ左ノ書林ニテ賣捌仕候

定價

一冊 金六錢 拾冊分 前金五拾錢

右之外郵便稅申受候○賣捌被成度御方ハ本舎
又ハ賣捌所へ御申越レ可被下候

東京第一大區十三小區濱町貳丁目壹番地

本舎 同盟舎

編輯出版人 青木輔清

東京賣捌所

本町二丁目 中外堂梅次郎
横山町二丁目 岩木屋彌兵衛
馬喰町二丁目 森屋治兵衛
通り三丁目 丸屋善七
本石町二丁目 椀屋喜兵衛
大傳馬町三丁目 袋屋龜次郎

賣弘所

淺草雷門内 大橋堂
同菊屋橋通松崎 博真堂
神田淡路町二丁目 明八堂

諸國賣弘 東京藥研堀 報知社

終

